

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

|   |
|---|
| 事業番号 ◆D-20-1-2  |
| 事業名 津波監視カメラ整備事業   |
| 事業費 5,953 千円(国費：4,762 千円)   |
| 事業期間 平成 24 年～平成 24 年  |
| 事業目的<br>津波対策として監視カメラを設置し、地震発生時等に対応する。   |
| 事業地区<br>鹿島港、波崎地区沿岸部   |
| 事業結果<br>神栖市役所内に監視カメラの映像録画機能を有するレコーダー及びコントロール機能を有する映像確認用モニターを設置し、24 時間体制で津波を監視することが可能となった。<br>また、監視カメラの映像は YouTube を通じて市民に配信し、津波の状況を確認することが可能となった。 |

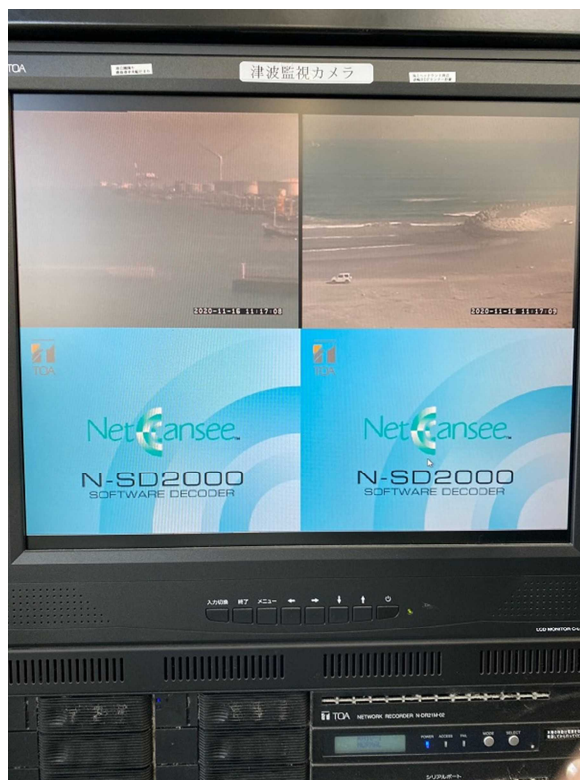
【津波監視カメラ設置箇所位置図】

The map displays the coastal area of Kamikojima, including the port and surrounding districts like Nishimachi and Amakojima. Three specific locations are marked with red circles and labeled: '防災カメラ No.1 (鹿島港消防署)' at the top, '監視局 (神栖市役所内)' in the middle, and '防災カメラ No.2 (広域波崎RDFセンター)' at the bottom right. The map also shows various roads, buildings, and geographical features.

【津波監視カメラ写真】



【津波監視モニター写真】



事業の実績に関する評価

①事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

津波監視カメラの設置により、津波が発生した際、市役所内でも監視することが可能となった。

②コストに関する調査・分析・評価

監視カメラの設置箇所について、公共施設を利用することで用地買収費が不要となり、工事費も抑えることができた。

③事業手法に関する調査・分析・評価

設置箇所については、東日本大震災時に被害が大きかった鹿島港と波崎地区の漁港周辺を監視できる場所を選定し、設置した。

事業担当部局

生活環境部 防災安全課 電話番号：0299-90-1126